

【平成 29 年 7 月期 小規模企業景気動向調査報告書】**静岡県商工会連合会**

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 29 年 7 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 29 年 7 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 37 商工会より回答）【回収率 97%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）**【7月期の産業全体の業況 DI は前月に続き好転】**

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-10.8（前月-10.1、前年同月-23.2）で、前月と比べ 0.7pt の悪化となった。10 業種中 6 業種が好転を示した。前月はサービス業（旅館・洗濯・理美容）すべてが前月に比べ悪化していたが、今月はサービス業の全てが好転となっている。

【製造業】

業況は-4.5（前月-3.0、前年同月-16.7）と前月と比べ 1.5pt 悪化した。機械金属において、自動車関連はかなり低調で厳しい状況が続いている。また、原材料価格の高騰及び親会社からの圧力により収益悪化が続く。受注状況厳しく、先行きは まだまだ不透明感ありとのコメントがあった。

【建設業】

業況は-8.1（前月-2.9、前年同月-18.4）と前月に比べ 5.2pt の悪化となった。請負金額が大きい仕事は無いが、住宅メーカーからの受注が間断なく入り、遊んではいない。人手不足の現場が大変多い様子であり、業況が比較的良い事業所とそうでない事業所の二極化が顕在となっているとのコメントがあった。今期も、作業員の高齢化と不足感が大きな問題とのコメントが多くあった。

【小売業】

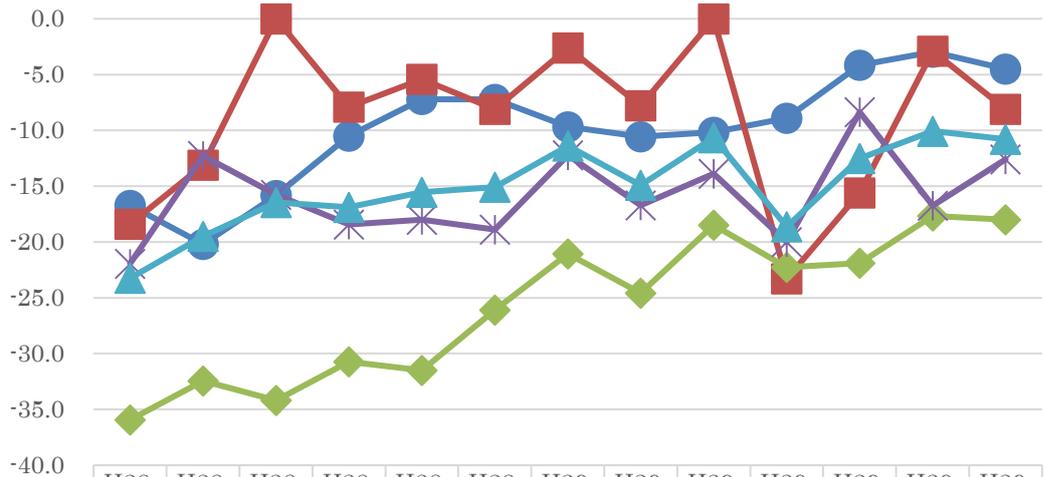
業況は-18.0（前月-17.7、前年同月-35.9）と前月と比べ 0.3pt の悪化となった。インターネット販売、大手の量販店が強く、仕入問屋がつぶれている状況となっている。問屋に注文するにも 1ロットでの注文となっており、結果、仕入単価も上がってしまっている。また、夏の暑さでお客様の外出する機会が減り、来店頻度が減少し、売上が低下しているとのコメントがあった。

【サービス業】

業況は-12.6（前月-16.7、前年同月-21.9）と前月と比べ 4.1pt 好転した。〈旅館〉平日はほとんど宿泊客が無く、週末に集中している。今月は週末にキャンセルが多く発生したので売上が大幅減。全体的に成績の良いホテル悪いホテルと別れてしまっているとのコメントがあった。〈洗濯業〉観光地の洗濯業では、旅館の客数に比例している為、前年より悪い状況となっているとの事。〈理美容業〉高齢者が主な顧客である為、年々客数が減少しているとのコメントがあった。

3 本調査に関するお問合せ静岡県商工会連合会情報・経理課 ☎054-255-8080〔担当：中野、吉本〕

＜平成29年7月期 業種別業況DI推移表＞



	H28.7	H28.8	H28.9	H28.10	H28.11	H28.12	H29.1	H29.2	H29.3	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7
● DI値（製造業）	-16.7	-20.2	-15.8	-10.5	-7.2	-7.2	-9.7	-10.6	-10.2	-8.9	-4.2	-3.0	-4.5
■ DI値（建設業）	-18.4	-13.1	0.0	-7.9	-5.4	-8.1	-2.6	-7.8	0.0	-23.3	-15.6	-2.9	-8.1
◆ DI値（小売業）	-35.9	-32.4	-34.2	-30.7	-31.5	-26.1	-21.1	-24.6	-18.5	-22.3	-21.9	-17.7	-18.0
✳ DI値（サービス業）	-21.9	-12.3	-15.8	-18.4	-18.0	-18.9	-12.2	-16.7	-13.9	-20.0	-8.4	-16.7	-12.6
▲ DI値（全業種平均）	-23.2	-19.5	-16.5	-16.9	-15.5	-15.1	-11.4	-14.9	-10.6	-18.6	-12.5	-10.1	-10.8

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食品製造業・繊維工業・機械金属製造業)

- ・ 食品製造関係は、夏の観光シーズンに向け、客足が徐々に増えている影響で、若干ではあるが売上増の傾向にあると思われる。(伊豆)
- ・ 一部の金属部品加工企業で受注が好調。しかし人手不足や、熟練技能者の引退に備える技能移転が進まないなど、課題にも直面。(富士駿東)
- ・ 〈茶業〉加工茶(パック)の生産が忙しい。リーフ茶については低調のまま推移している。(中部)

【建設業】

- ・ 消費税引き上げ後、厳しい状態が続いていたが、新築・リフォーム等徐々ではあるが、需要が増加している。(富士駿東)
- ・ 建設業で人手不足が問題であり続けている。事業主が引退の時期に近づいている事業所もあり、事業引継ぎについても情報提供を行っていききたい。(富士駿東)

【小売業】(衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業)

- ・ 衣料問屋の廃業等で仕入先が狭まっている為、商品の買い付けが難しくなっている。又、現金仕入なので資金繰りが厳しい状況。(伊豆)
- ・ 酒、食品小売業を営む事業所に於いて、焼酎より日本酒の需要が高まっている。また、ハイボールの需要高まりで日本酒・ウイスキーの売上が伸びている。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・ 近年、大手チェーン店の進出が特に多いため、従来のクリーニング店業界は下降気味。技術はあるが、簡単な物なら安価なチェーン店には勝てない。(伊豆)
- ・ 〈旅館〉工事関係者の滞在宿泊は横ばい傾向。観光宿泊客は増加傾向にあるが、旅館の二極化(入込客のバラつき)が進んでいるように感じている。(中部)

小規模企業景気動向調査(平成29年7月末)

1.食料品製造業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-10.8	-3.0	悪化
売上	5.4	-3.0	増加
仕入単価	18.9	2.9	上昇
採算	-8.1	-5.9	悪化
資金繰り	-10.8	-8.9	悪化

2.繊維工業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-5.4	-3.0	悪化
売上	-10.8	-8.9	減少
仕入単価	5.4	8.8	低下
採算	-5.4	-5.9	好転
資金繰り	-5.4	-2.9	悪化

3.機械金属業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	2.7	-2.9	好転
売上	21.6	17.6	増加
仕入単価	10.8	11.7	低下
採算	-2.7	8.8	悪化
資金繰り	-5.4	0.0	悪化

4.建設業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-8.1	-2.9	悪化
売上	-13.5	5.9	減少
仕入単価	24.3	14.7	上昇
採算	-5.4	-5.9	好転
資金繰り	-5.4	-14.7	好転

5.衣料品小売業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-24.3	-26.5	好転
売上	-18.9	-14.6	減少
仕入単価	2.7	8.8	低下
採算	-10.8	-11.8	好転
資金繰り	-21.6	-17.6	悪化

6.食料品小売業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-13.5	-5.9	悪化
売上	-2.7	2.9	減少
仕入単価	21.6	14.7	上昇
採算	-18.9	-8.8	悪化
資金繰り	-2.7	-2.9	好転

7.耐久消費財小売業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-16.2	-20.6	好転
売上	5.4	-14.7	増加
仕入単価	16.2	14.7	上昇
採算	-2.7	-23.6	好転
資金繰り	-10.8	-20.6	好転

8.旅館業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-2.7	-3.0	好転
売上	-2.7	-17.7	増加
仕入単価	21.6	11.8	上昇
採算	0.0	0.0	不変
資金繰り	-5.4	-11.8	好転

9.洗濯業

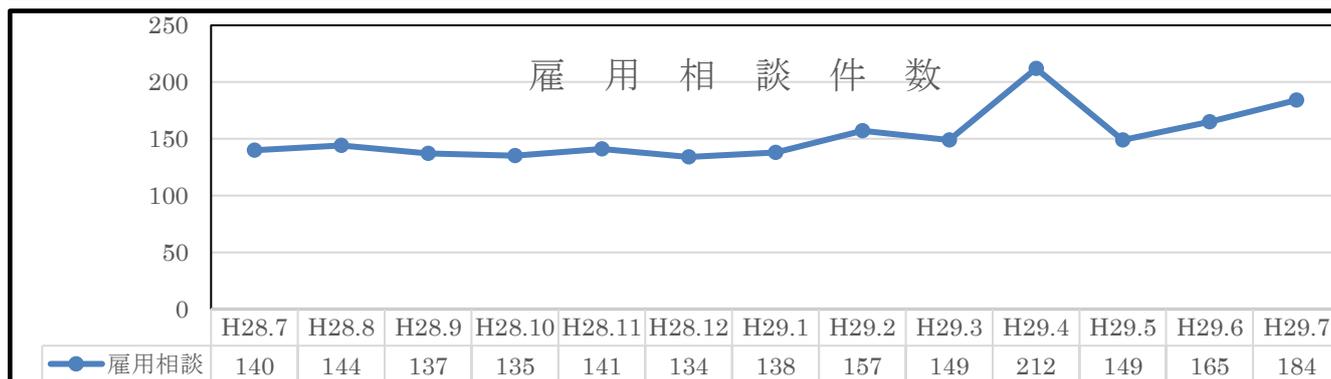
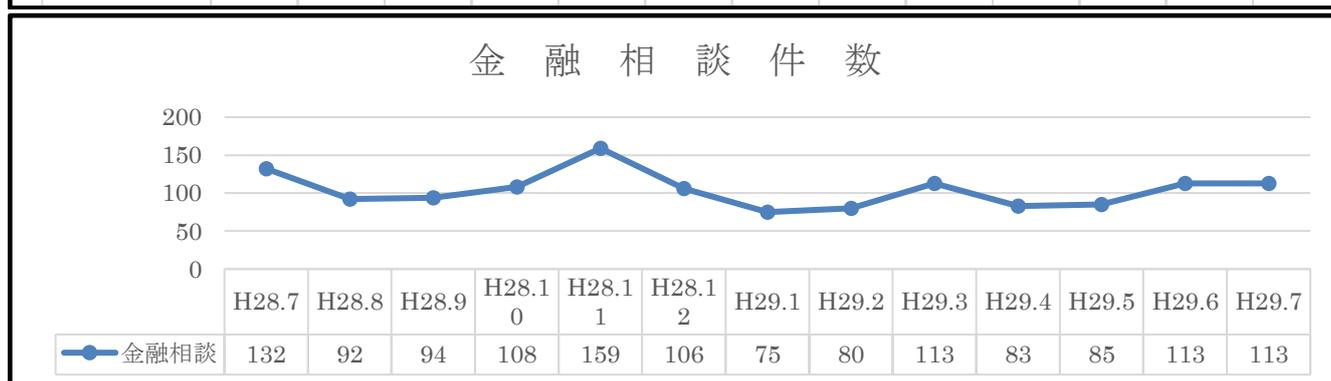
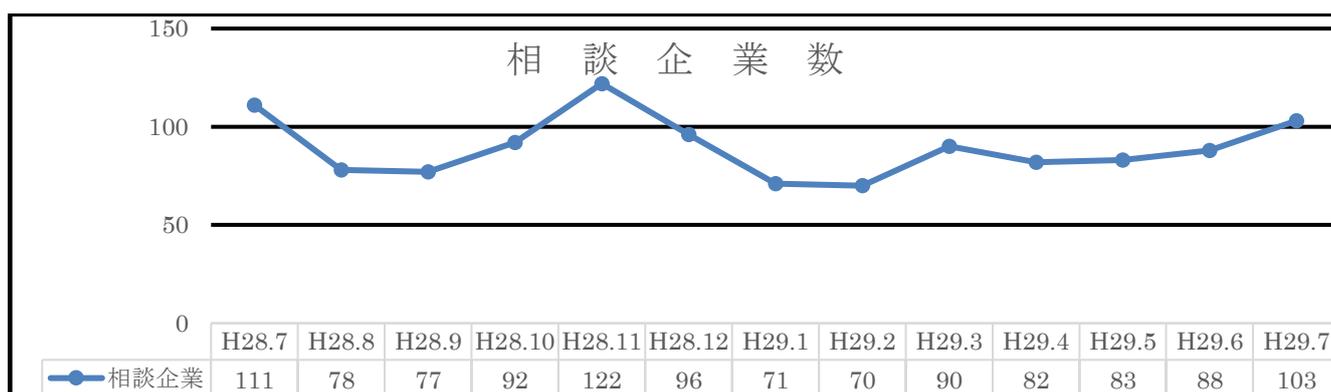
	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-16.2	-23.6	好転
売上	-8.1	0.0	減少
仕入単価	5.4	17.6	低下
採算	-2.7	-3.0	好転
資金繰り	-10.8	-14.7	好転

10.理美容業

	今期DI	前期DI	対前期比
業況	-18.9	-23.6	好転
売上	-13.5	-8.8	減少
仕入単価	0.0	2.9	低下
採算	-2.7	0.0	悪化
資金繰り	0.0	-2.9	好転

金融・雇用相談実績月次報告(平成 29 年 7 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	103	88	15
【金融相談件数】	113	113	0
新規融資（借換えを除く）	64	78	-14
既存債務の借換え	34	27	7
借入れ条件変更	5	1	4
消費者金融・商工ローン関連	1	0	1
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	9	7	2
【雇用相談件数】	184	165	19



【金融相談】

金融相談件数は、113件と前月(113件)と変化は無かった。相談内容については、新規融資の相談が減り、既存債務の借換え、借り換え条件の変更の相談が増加した。

<経営指導員コメント>

- ・融資に関する相談案件は少ない。業種問わず全般、現預金が潤沢ではなく、2か月程度の売掛等の支払いサイトにより資金繰りに苦慮している事業所は多い。(伊豆)
- ・数は少ないが、営業用自動車の購入の問い合わせあり。(富士駿東)
- ・例年に比べ、マル経融資のあっせんが少ない。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、184件と前月(165件)に比べ19件増加した。

<経営指導員コメント>

- ・急速な人口減少による影響か、下田地区ハローワークの夏期アルバイトの求人募集を出している事業所が例年に比べ多い。巡回していても夏期アルバイトをする人はいないかとの声も多く聞く。(伊豆)
- ・建設業は、外注含めて人手不足である人材確保の為、ハローワークなどへ募集をかけているがなかなか採用までには至らない。他の業種でも条件に見合う従業員確保がなかなか出来ていない。最低賃金の引上げもあり不安。(伊豆)
- ・平成30年4月から障害者の法定雇用率が引き上げになる事に関する相談が増加。(中部)
- ・正社員を採用しようと求人票をハローワーク等へ出しているが、人がこない。問い合わせ等もない状況である。(西部)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・行政からの支援もあり、プレミアム商品券とプレミアム工事券を昨年に続き発行。いずれも15%の付加価値を付け販売した。小規模店舗や建設業関連会員が有効に活用されることを期待(伊豆)
- ・伴奏型小規模事業者支援推進事業で消費喚起、特産品等の販路拡大、地域の賑わい創造を目的とした軽トラ市を会員事業所が集約しているSC駐車場で開催した。商工会職員がデザインしたチラシや立て看板を市内全域に折り込み、周辺への設置の効果もあつてか、暑い日にもかかわらず多くの来場者があった。出店した事業者や農業者も自店のPRや契約成立につながるなど採算は合った模様。またSCにも相乗効果で30%増しの来店があったことを聞いた。(中東遠)